

在学生のみなさん
父母等のみなさま

2023 年度授業について

帝塚山学院大学
教務部長 渡邊 隆弘

新型コロナウイルス感染症の状況に対応しながらの 2022 年度授業が終了いたしました。授業形態の切り替えに対応しながら学修に取り組んでくれた学生のみなさんの努力と、父母等のみなさまのサポートに、深く感謝いたします。

さて、すでにお聞きおよびのことと存じますが、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、5 月 8 日以降、インフルエンザ等と同じ「5 類」に移行される予定です。また、これに伴い大阪府による「大阪モデル」は廃止されるとの報道も出ています。

この変更を受け、本学の 2023 年度の授業につきまして、下記の方針に基づいて実施いたしますのでお知らせ申し上げます。

記

1. 授業方針について

2023 年度の本学の授業は、引き続き新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、「集合授業」を実施することを原則とします。ただし、大学が教育上の効果があると確認した一部の科目についてはオンデマンド形態（自宅等の教室外の場所で動画配信や音声教材配信による授業を受講し、課題に取り組む授業形態）での授業を実施します。

なお、2020 年度より運用してまいりました「新型コロナウイルス感染症関連欠席」の取り扱いについては、今後の状況を注視しながら検討を進め、新学期ガイダンスにて 2023 年度の対応をお知らせします。また、新型コロナウイルス感染症の「5 類」移行後も、国や大阪府からの要請によっては、遠隔授業に切り替える場合がありますので、あらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

2. 学内の感染症対策について(予定)

学内における感染症対策は以下を予定しています。学生のみなさんに依頼する感染症対策については、新学期ガイダンスにて説明いたしますが、4 月以降、マスク着用はこれまでの「必須」から「推奨」（ただし、個人の判断を尊重）へと対応を変更する予定です。

- ・検温センサーの設置（キャンパス入口）
- ・フロア、授業使用教室への消毒剤の設置
- ・マスク着用の推奨（ただし、個人の判断を尊重）
- ・教卓と最前列座席との距離がとれない場合、アクリル板を設置
- ・簡易パーティションの設置・貸し出し
- ・原則、試験座席（教室収容定員の 60% 程度）の席数に設定（実験実習を除く）
- ・着席位置指定、固定席の教室は最前列着席不可（着席不可の座席には掲示）
- ・出入口の開放または定期的な換気
- ・教室への CO2 センサーの設置

3. ご自宅の ICT 環境のご確認について

本学では、集合授業を中心とする状況下においても、インターネットやパソコン等を使用して学習を行う WebClass を活用した授業の取り組みや、オンデマンド形態の授業を取り入れており、また、新型コロナウイルス感染症の「5 類」移行後も、状況によっては遠隔授業が中心となる期間が発生する可能性もあります。新学期開始までに、ご自宅の ICT 環境（パソコン、Wi-Fi、プリンター等）についてご確認と可能な範囲での整備をお願い申し上げます。

2023 年度の授業について、少しでも不明な点、不安な点がございましたら、ご遠慮なく教学課までお問い合わせいただければ幸いです。

以上